

あい 愛 & あい 会

- AI & AI -

FUKUOKA NURSING FEDERATION

福岡県看護連盟だより

令和6年5月15日発行

<http://www.fukukanren.jp>



日本看護連盟
シンボルマーク

Vol. 94

会員数
(令和6年4月末現在)

6,909名



新緑の中で、凜と輝く福岡県朝倉市の国指定史跡「三連水車」。2017年の九州北部豪雨で、流木と土砂による大きな被害を受けましたが1か月後には復興し力強く動きはじめました。復興のシンボルとして、豊かな恵と勇気を与えています。

Contents

- | | |
|--|-------------------------------|
| 02. 会長挨拶/能登半島地震義援金の報告 | 06. 令和6年度福岡県看護連盟事業計画 |
| 03. 福岡県看護連盟会長表彰/
自民党定期党大会表彰/自民党県連大会表彰 | 08. 看護職員活動報告 |
| 04. 令和5年度福岡県看護連盟事業報告 | 10. 研修会報告 |
| 05. 令和5年度決算報告/令和6年度予算報告 | 11. 青年部の窓 |
| | 12. 私たちの支部活動/広報委員会よりお知らせ/編集後記 |



ご挨拶

爽やかな薫風の季節となりました。

会員の皆様には、平素から福岡県看護連盟の活動に多大なご理解とご協力をいただいておりますことに、大変有難く心から感謝申し上げます。

また、年明け早々からの能登半島地震において、石川県をはじめとする北陸各県の被災された皆様には、心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧・復興を願って止みません。福岡県看護連盟会員の皆様には、温かい励ましや善意の募金など、力強い支援活動を展開していただきました。連盟の絆をとっても嬉しく思っております。尚、善意の募金につきましては、2月末と3月末に被災県に届けましたことをご報告いたします。ご協力ありがとうございました。重ねて感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せております。コロナ禍の三年半は、社会における看護の重要性が国民に広く認識される機会となり、医療現場の看護職処遇改善策として、「看護職員処遇改善評価料」の新設と「医療職俸給表(三)」が改正され、看護職の働きと努力が報われる形となりました。今後はこの成果を、全ての看護職の処遇改善に反映させていかねばなりません。この度の春闘後の賃金アップ等現状につきましては、まだまだこれから先が改善という施設も多い中、忌憚のないご意見をお寄せいただければと思っております。引き続き、国民(県民)の理解を得ながら一生懸命取り組んで参る所存でございます。益々の政治活動が重要になってきます。

キラリと光り輝く看護の未来を創るために、政治を変えていきましょう。

福岡県看護連盟は、人生100年時代のあらたな看護政策としてOne Health(ワンヘルス)の考え方を推進し、ヒトと地球環境にやさしい政策の流れを波及させております。看護はどうあるべきか、新しい未来への扉を自分たちの手で開かねばなりません。福岡県看護連盟と福岡県看護協会は、互いにその組織力と底力をもってしっかり協力し合い、連携して参る所存でございます。

看護職がその実力を如何なく発揮できる社会を築くための連盟活動に、改めてご支援ください。何卒よろしく願い申し上げます。

尚、連盟活動につきましては、忌憚のないご意見をお聞かせくだされば幸いです。



福岡県看護連盟会長
塚崎 恵子

ご協力ありがとうございました!

令和6年能登半島地震義援金

募金総額 977,000円

期間 令和6年1月18日~令和6年2月29日

4月11日に下記口座へ振り込みましたことをご報告いたします。

みずほ銀行

支店名: 青山支店

預金種目: 普通

口座番号: 3252572

口座名: 日本看護連盟募金窓口

皆さまからお預かりした義援金は、

日本看護連盟を通じて被災県の看護連盟に分配され
被災した連盟会員に直接反映されます。

皆様のご協力に感謝いたします

尚、寄付金として2月26日に石川県看護連盟へ300,000円、
2月27日に新潟県看護連盟へ200,000円を贈りました。



令和6年度

福岡県看護連盟通常総会のお知らせ

日時 令和6年6月30日(日) 13:30~16:00

場所 福岡リーセントホテル 2階 舞鶴の間
福岡市東区箱崎2-52-1

プログラム

13:00 開場
13:20 オリエンテーション
13:30 開会
物故者会員への黙とう
会長挨拶
来賓祝辞
来賓紹介
祝電披露
14:45 福岡県看護連盟会長表彰
15:00 議長団・議事録署名人選出

報告事項

1. 令和6年度日本看護連盟通常総会報告
2. 令和5年度日本看護連盟主催会議報告
3. 令和5年度福岡県看護連盟主催会議報告
4. 令和5年度福岡県看護連盟並びに支部事業報告
5. 令和5年度決算報告

6. 令和5年度監査報告
7. 令和6年度スローガン
8. 令和6年度福岡県看護連盟並びに支部事業計画
9. 令和6年度予算報告
10. 令和6年度退任役員・新任役員報告
退任役員・新任役員挨拶
綱領宣言
連盟歌斉唱

16:00 閉会



おめでとうございます

令和6年度福岡県看護連盟会長表彰

安達 康子 医療法人社団高邦会 高木病院
 藤嶋 早百合 社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院
 上野 理恵 株式会社麻生 飯塚病院
 山路 二夕子 一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院

石飛 一枝 株式会社麻生 飯塚病院
 北原 裕士 久留米大学医療センター
 釘嶋 美穂 久留米大学病院

(順不同・敬称略)

第91回自由民主党定期党大会表彰

小野 有美 一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院
 林田 仁美 一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院

吉井 千穂 久留米大学病院

(順不同・敬称略)

令和6年度自民党県連大会表彰

●優秀党組織

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会八幡総合病院

●優秀党员

西川 泰子 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院
 原崎 礼子 久留米大学医療センター
 斉藤 由香 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院

水落 久子 社会医療法人共愛会 戸畑共立病院
 古賀 弥生 一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院

(順不同・敬称略)

1 政治力・政策実現力の強化

目標1 看護職国会議員の選出・支援

- 第27回参議院議員選挙における組織内候補予定者の決定
・総合役員会及び各支部役員会、各種研修会で候補予定者の知名度の向上と活動状況を周知した。
・研修会終了後アンケート集計による議員の知名度結果：石田まほひ組織内候補予定者知名度(87.90%)
- 看護職国会議員の支持と活動周知
・機関誌各号に看護職国会議員の挨拶や活動報告記事を年3回掲載しリアルタイムで情報提供を行った。また、各議員個別のタイムリーな国政報告については、即日各支部へ発信していち早く会員に届け周知した。
・看護職国会議員を招聘しての研修会を2回実施(高階衆議院議員、友納参議院議員)
・研修時に看護職の議員を知って貰える様に国会での活動報告書等を配布し発信をした。
・看護職国会議員の支援覚書確保(比例衆議院議員)
- 公職選挙法の遵守
・戦略・活動マニュアル、コンプライアンス対策等、本部改編を資料として、公職選挙法遵守で違反なし。
・支部間で公職選挙法の遵守について、ナレッジベースの共有を図った。

目標2 看護政策の実現

- 日本看護連盟、県看護連盟の政策実現力の強化
・看護政策実現に向けてのGWや情報共有をもとに、地元国会議員11人、県知事、県議員44人へ要望書を手提出した結果、看護職処遇問題について、30年ぶりの「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な方針」改正の政策実現に至った。
・福岡県看護協会と今後の看護政策会議の在り方について検討した結果、行政への要望に関する事項等、連盟と協会間のこれまでの認識のズレや齟齬が是正できた。
- 現場の声を把握と改善
・オンラインで開催された現場の声の入力窓口を会員に周知、Web調査に協力した。
・直接声を届けることで、政策提言につなぐ具体的な根拠が明確になった。政策提言内容及び制度改革状況はHP、機関誌等で会員に周知した。
- 医療系・介護系団体及び行政との連携
・施設代表者会議、研修時に情報共有している。
・福岡県鍼灸マッサージ師連盟とのコラボレーション企画継続(会員施設割り引)
・助産師出向事業等、助産師会との連携で情報交換及び情報共有することができた。
- 看護教育機関との連携
・学校に出向き基礎研修を実施した。
・県内の看護大学教員と行政で通年3回の勉強会実施、現役大学生に保健師大学院化のアンケート調査を実施した。
- 新型コロナウイルス感染症対策の政策推進
・コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけを2類から5類への移行で各医療機関・施設が抱えている不安や課題(クラスター発生時の対応)については、感染拡大の問題なく実態を国会議員や国会議員に伝え、情報共有に努めた。
・新型コロナウイルス感染症分類が5類へ移行後、各会議、研修会等の参加人数の制限や集合開催が徐々に解禁された。連盟事務局が入居するナースプラザ内の会議等の感染症対策はマスク着用のみ継続であった。

目標3 看護を理解する国会議員の確保と支援

- 県選出の国会議員との連携強化
・医療機関等の看護職員の質上げを可能とする財政支援に関する要望書を自由民主党副総裁麻生衆議院議員はじめ国会議員11名に手提出、情報交換を行った。
・古賀衆議院議員による(看護と政策過程)研修会実施参加者(349名)終了後情報交換を行った。

目標4 地方議会、地方行政への影響力の強化

- 地方議員との情報交換と活動支援
・中尾県議会議員による「政治を身近に感じる」研修会実施参加者(149名)終了後情報交換を行った。
・10月自由民主党福岡県支部連合会開催「政経セミナー」に看護連盟より(10名)参加。連盟は保健師マニキュア推進のコード再調査と助産師活用事業推進の助成金確保等について自民党県議団に申し入れた。
- 福岡県看護問題対策議員連盟(仮称)の再構築
・県議団の承認を得たが、コロナ禍で思うように再構築活動が進捗しなかった。
- 地方議会、行政等との情報交換
・保健師大学院設置について、行政と各看護大学の教員達とで勉強会開催(通年3回)
・県議会傍聴回数(2回)
・知事による5地区別(福岡、北九州、筑後、筑豊、京築)政経文化セミナーに15名参加

目標5 地方議員の擁立と支援

- 地方議員候補者の発掘と育成
・北九州市遠賀町議会議員選挙において野口久美子(保健師職)氏が当選。
・看護職地方議員1人勇退するも議員数は堅持。
- 地方議員との連携強化
・看護職議員(野口)の活動報告を機関誌に年3回掲載及び、議員からの会報誌(議会だより)を共有。

2 組織力の強化・拡大

目標1 看護連盟の効率的な組織運営

- 福岡県看護連盟の規約等に基づいた効率的な運営
・定例の総合役員会時、組織力強化についてGW(情報交換・共有)、内部ガバナンス及びコンプライアンスに基づく組織運営が起動した。
・福岡県看護連盟役員会の職務分掌・役割分担を現状に合わせて明確化した。
- 福岡県看護連盟支部の効率的な運営
・新任役員対象の支部運営研修を開催、効率的な運営に繋いだ。
・諸会議において支部課題が明確になり、相互に補完して円滑に活動した。
- 財政等の健全化と適正化
・予算に基づき執行、会計監査を各支部活動計画・報告書提出を下に年2回行い適正に処理されていた旨を総合役員会で報告した。
・政治資金規正法に基づく政治資金収支報告書(1月~12月)を県へ提出。

目標2 看護連盟と看護協会との連携・協働の推進

- 県看護連盟と県看護協会との連携強化
・九州ブロック別看護管理者等政策セミナーでは(10名)参加。協会からは副会長が出席。協会と連盟の足跡を改めて知る事で連盟の重要性を実感して頂いた。
・福岡県看護連盟と協会は合同で政策懇話会を年4回開催、行政への要望内容について共有確認、協働に努めた。
・看護連盟・看護協会合同会議が沖縄にて開催。会長、幹事長参加「会員確保に向けた職能団体としての具体的な連携について」をテーマにGWを行い意見交換等で情報共有を図った。

目標3 会員の確保対策

- 2023年度の会員目標数の設定と目標管理
・2023年度目標数8600人確保とされていたが7385名(86%)に留まった。
・7753人→7385人(95%)は、実質的に例年毎の会員数10%減を歯止めた。

- 看護連盟入会の促進、退会者の防止
・施設訪問を実施した支部は複数あるが会員入会には繋がっていない。
・賛助会員入会案内と説明の個別訪問で自民党議員等12人を獲得した。
- 若年層・学生会員の確保
・青年部委員長に筑豊飯塚病院宮野貴紀氏が就任、新体制青年部活動を牽引した。
・2/10ポリナビワークショップin福岡を開催。講演内容は「基礎研修」「DMAT(災害支援ナースが伝えたいこと)」「ストレス対処について」であった。78名の参加(会場、オンライン)
- OB会支部、OB会の活性化
- 会費課金システム導入の検討
・会員確保に於ける効果的な会費納入方法に対する意見を収集している。

目標4 社会変化に即応する為のDXの推進

- 業務効率化や災害等の不測の事態に備えるデジタルインフラ基盤の確立
・クラウド活用研修会参加でクラウド導入した。
・日本看護連盟と県看護連盟のデータ共有、クラウド活用には協力できた。
- 各種会議及び研修事業における安定的なオンライン運用
・zoomプロバイダサービス契約継続でデジタル活用化とアナログface-to-faceの良い所を旨く駆使して、会議活用の基盤の整理をすすめているが、災害等に備えるまでには至っていない。
・オンライン化促進で、青年部ポリナビワークショップをハイブリッド形式で実施した。
- SNS及びデジタルを活用した効率的な活動の推進
・広報委員を中心にSNS活動推進、HP等へのZ世代戦略展開中。

目標5 看護連盟の活動の強化及び周知徹底

- 日本看護連盟・都道府県看護連盟との情報共有化
・日本看護連盟、中央役員会、日本看護協会の政策の情報等については、各支部役員へSNS、HP、オンライン等でタイムリーに発信した。
・都道府県別会議には青年部も参加、Z世代受けするYouTuber活用等ができないか等、活発な議論展開で、活動強化について共有を図った。
- 自立した会員の育成を目指した研修の推進
・基礎研修資料福岡版(青年部作成)を活用、連盟活動の理解を深め実践に繋いだ。
・各種会議において、オンラインツールを活用して、効率的な会議が運用できた。

目標6 若手会員の育成

- 若手会員の活性化の促進
・全国青年部代表者ミーティング1名出席、国会議員との交流や情報交換により視野を広げ、活動が活性化した。
・九州ブロック協議会10人参加、九州ブロック内8県の青年部の活動を共有した。
・自民党FUKUOKA政治塾入塾申し込み2名あり。
- 青年部委員会活動の促進
・新青年部委員長の下、青年部幹事をサポートする担当役員を配して、相談体制を整えた。
・青年部委員長が総合役員会に参加することで、連盟活動の一翼を担っている自覚が青年部委員会に定着した。
・第11回ポリナビワークショップin福岡(ハイブリッド形式)開催。102人参加で、積極的な政策活動を展開、学生会員2人獲得。

目標7 広報活動の強化充実

- 会員に向けた広報活動の充実・強化
・機関誌を年3回発行。
・広報委員会年6回開催、活動方針や具体策を検討し「今さら聞けない政治のしくみクイズ」を令和6年度より実施する事とした。昨年からの継続企画「私のイチオシ」への投稿13件であった。
- インターネットを活用した有効な情報発信
・リアルタイムに研修会等の報告を行い会員への周知を図った。
・看護職国会議員の国政報告や活動、Webアンフィニ等が速やかに発信できた。

目標8 支部組織の活動の強化・促進

- 支部組織の強化及び支部役員・リーダーの強化
・支部運営マニュアルの整備を行い支部役員の役割を円滑にした
- 各支部会員のモチベーション強化
・各支部での議員による研修は身近な課題と政治を結び付ける良い機会となりモチベーション強化に繋がった。

目標9 ブロック別協議会の活動強化・促進

- ブロック協議会の活性化
・九州ブロック協議会10人参加、ブロック内青年部の更なる活動支援として九州ポリナビワークショップの再開が決定。
・総合役員会で九州ブロック8県の課題を共有化し、活動についての意見交換が出来たのは刺激になり知見も深まり意欲向上に繋がった。

目標10 関係団体・関係組織との連携・強化

- 看護協会以外の関係団体との交流促進
・福岡県ワンヘルス協議会、ニューリエンフォーラムの活動を通して、看護連盟活動のアピールに繋いだ
・医師会、薬剤師会等、医療団体との交流で診療報酬改定の意見交換ができた。
・鍼灸マッサージ連盟との提携更新、連盟会員の福利厚生の一助とした。
・社会貢献「NPO法人サーバー風(かぜ)・ジャパン」に福岡県看護連盟会員(9名)が登録

3 会員の福祉の充実

目標1 災害への対応

- 災害発生地への支援
・筑後田主丸水害では国会議員、連盟会長が被災現場を視察情報交換、共有を行い、いち早く対応が出来た。
・能登半島地震については、ALL配信で各支部に伝達して情報の共有を図った。知り得たリアル情報を行行政や地元選出の国会議員とも共有した。
・能登半島地震義援箱を22支部で設置した。
・義援金等は日本看護連盟や福岡県の情報を鑑み、被災地の状況に合わせて寄付金50万円(石川県、新潟県)へ2月末日送金。
・募金に付いては4/9現在977,000円が集まっており今後も継続する。

目標2 福利厚生への対応

- 日本看護連盟及び福岡県看護連盟内規に基づく対応
・福岡県看護連盟会長表彰受賞者10名(黒田祥子、大野千代美、浅尾典彦、井上由美子、菰田真子、里田佳代子、川畑浩子、今村朋子、野田佐代美、姉川礼子(敬称略))
・物故者3名へは日本看護連盟及び福岡県看護連盟より弔意を表した。

目標3 諸問題への対応

- 会員の安全の保証
・政治活動に関する疑問等は、速やかに本部に相談して自民党コンプライアンス室に確認して安全活動に繋いだ。
・選挙関係等は、福岡県選挙管理委員会に確認して公職選挙法違反のない活動に繋いだ。
・県看護協会の防火対策管理委員会に出席し日常の防災対策を点検した。3月には消防避難訓練に参加した。

令和5年度 決算報告

自：令和5年4月1日
至：令和6年3月31日
単位：円

(収入の部)

項目	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	差異	備考
I 会費	18,750,000	18,404,310	▽ 345,690	会費(7,385名、賛助会費等 会費振込手数料を控除した額)
II 本部助成金	15,000,000	17,819,490	(2,819,490)	会費還元金、運営費助成金 等
III 研修会費	0	0	0	研修会参加費
IV 預金利息	200	57	▽ 143	預金利息
V 寄付金	0	0	0	
VI 雑収入	10,000	27,898	(17,898)	幹旋販売リポート等
前年度繰越金	25,042,284	25,042,284	0	
総計	58,802,484	61,294,039	(2,491,555)	

(支出の部)

項目	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	差異	備考
I 会議諸費	4,900,000	4,596,884	303,116	
総会費	2,300,000	2,054,227	245,773	総会関係諸費
支部長会費	1,000,000	946,430	53,570	総合役員会 他
役員会費	500,000	589,992	-89,992	三役会 県役員会
委員会費	1,100,000	1,006,235	93,765	委員会(広報・編集・青年部) 看護政策懇話会
II 事業費	31,500,000	20,028,461	11,471,539	
組織活動費	7,000,000	4,660,650	2,339,350	組織内活動費・監査関係費 他
組織対策費	9,000,000	4,916,047	4,083,953	本部会議・九州ブロック会議 等
教育費	1,000,000	1,666,860	-666,860	研修会講師謝金 研修会資料作成費 他
渉外費	4,000,000	3,874,096	125,904	慶弔費、各級議員会合・セミナー等 会費 出席費 他
支部交付金	7,000,000	2,951,808	4,048,192	各支部活動費(会議 研修会 他)
機関誌発行費	2,500,000	1,159,000	1,341,000	機関誌(年3回)
寄付金	1,000,000	800,000	200,000	
III 維持運営費	22,000,000	16,448,224	5,551,776	
人件費	14,000,000	11,313,201	2,686,799	職員給与・役員手当、社会保険料 他
需給費	8,000,000	5,135,023	2,864,977	事務所諸費 備品消耗品費 光熱水費 等
IV 予備費	402,484	0	402,484	
総計	58,802,484	41,073,569	17,728,915	

令和6年度 予算報告

自：令和6年4月1日
至：令和7年3月31日
単位：円

(収入の部)

項目	令和6年度 予算額	備考	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額
I 会費	17,500,000	正会員7,000人+賛助会員	18,750,000	18,404,310
II 本部助成金	15,000,000	会費還元金 本部会議出席費 等	15,000,000	17,819,490
III 研修会費	0	研修会参加費	0	
IV 預金利息	100		200	57
V 寄付金	0		0	
VI 雑収入	0		10,000	27,898
前年度繰越金	20,220,470		25,042,284	25,042,284
総計	52,720,570		58,802,484	61,294,039

(支出の部)

項目	令和6年度 予算額	備考	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額
I 会議諸費	5,000,000		4,900,000	4,596,884
総会費	2,300,000	総会関係諸費	2,300,000	2,054,227
支部長会費	1,000,000	総合役員会関係費	1,000,000	946,430
役員会費	600,000	三役会 県役員会	500,000	589,992
委員会費	1,100,000	委員会(広報・青年部) 看護政策懇話会	1,100,000	1,006,235
II 事業費	28,000,000		31,500,000	20,028,461
組織活動費	5,000,000	組織内活動費・OB会・青年部活動費 他	7,000,000	4,660,650
組織対策費	7,000,000	本部総会・会議・政策集会(交流会) 施設訪問 九州ブロック(管理者研修会・青年部) 他	9,000,000	4,916,047
教育費	2,500,000	県・支部研修会講師謝金 他	1,000,000	1,666,860
渉外費	3,000,000	慶弔費 各級議員会合・セミナー等 会費 出席費 他	4,000,000	3,874,096
支部交付金	8,000,000	支部活動費(会議 研修会 他)	7,000,000	2,951,808
機関誌発行費	1,500,000	機関誌(年3回)	2,500,000	1,159,000
寄付金	1,000,000		1,000,000	800,000
III 維持運営費	19,000,000		22,000,000	16,448,224
人件費	13,000,000	職員給与 役員手当 社会保険料 他 (退職金積立金を含む)	14,000,000	11,313,201
需給費	6,000,000	事務所諸費 備品・消耗品費 光熱水費	8,000,000	5,135,023
IV 予備費	720,570		402,484	0
総計	52,720,570		58,802,484	41,073,569

令和6年度 福岡県看護連盟事業計画

目的	目標	方針	
政治力・政策実現力の強化	目標1 看護職国会議員の選出・支援	1) 第27回参議院議員選挙における組織内候補予定者の周知徹底 2) 看護職国会議員の支援 3) 公職選挙法の遵守	1) -1 第27回参議院議員選挙組織内候補予定者が高得票で当選 -2 都道府県別会議から抽出した課題の改善策を具体的な戦略として実施する。 2) -1 上記、1)-1に関連し日本看護連盟広報媒体等を積極的に活用する。 -3 FNF HP、SNS等インターネットLINEを活用し、看護職国会議員の選出を支援する。 3) -1 「参議院選挙実践の手引き」改訂版の理解と周知を図る。 -2 各支部の選挙活動の支援を行う。 -3 会員・非会員を問わず看護管理者を対象に正しい選挙運動の進め方を指導する。
	目標2 看護政策の実現	1) 日本看護連盟、県看護連盟の政策実現力の強化 2) 現場の声の把握と改善 3) 看護教育機関との連携 4) 新興感染症対策の政策推進	1) -1 自民党厚生労働部会、厚生労働委員会等の委員や各級議員等と連携し、JNA/FNAの重点施策に向けて情報を共有する。 -2 若者層の看護政策への関心や、政策提言力の強化を支援する。 2) -1 Lineに開設される「現場の声」入力窓口を周知徹底し、WV等の現場の声を積極的に収集する。 -2 政策提言内容及び制度改革状況は、タイムリーにHP、SNS等に掲載し、関係機関へ共有する。 3) -1 看護教育機関に「看護と政策」に関する講座開設の必要性を働きかける。 4) -1 感染対策に関する現場の課題をJNFと関係国会議員等に共有し、政策提言に活用する。 -2 感染対策支援については、必要に応じて多職種連携で取り組む。
	目標3 看護を理解する国会議員の確保と支援	1) 県選出の国会議員との連携強化	1) -1 県選出国会議員の政策フォーラム、国政報告会等に積極的に参加し、看護政策の理解を促す。 2) -1 県看護連盟と国会議員との交流の場を持つ。 -2 県の看護政策に理解を示す国会議員を支援する体制を強化する。
	目標4 地方議会、地方行政への影響力の強化	1) 地方議員との情報交換と活動支援 2) 福岡県看護問題対策議員連盟(仮称)の再構築 3) 地方議会、行政等との情報交換	1) -1 地方議員との交流の場を設け、連盟への理解を深める。 2) -1 福岡県看護問題対策議員連盟(仮称)の再構築に向けて働きかける。 3) -1 福岡県保健医療介護部医療指導課「医師・看護職員確保推進」に連携し、活動の支援を行う。 -2 地方議員の活動を支援する。
	目標5 地方議員の擁立と支援	1) 地方議員候補者の発掘と育成 2) 地方議員との連携強化	1) -1 県議、市(町)議への看護職の立候補者の発掘と人材育成プログラムを実施する。 -2 県、自民党県連が実施している若手育成プログラム等に積極的に参加し、候補者の育成を支援する。 2) -1 看護職を応援する候補者の選挙活動を応援する。(推薦状の発行等)
組織力の強化・拡大	目標1 福岡県看護連盟の効率的な組織運営	1) 福岡県看護連盟の規約等に基づいた効率的な運営 2) 福岡県看護連盟22支部と連携した効果的な運営 3) 財政等の健全化と適正化	1) -1 内部ガバナンス(統治)及びコンプライアンス(法令遵守)の徹底を図る。 2) -1 PPDACプロセスに基づいた行動計画に沿って実践・評価を行う。 -2 諸会議(通常総会、三役会、県役員会、総合役員会、青年部総会)の開催を円滑に行い、議決事項の迅速な実施を図る。 3) -1 費用対効果を会議費、事業費、政治活動、選挙運動等の費用に反映させる。
	目標2 福岡県看護連盟と福岡県看護協会との連携・協働の推進	1) 福岡県看護連盟と福岡県看護協会との連携強化	1) -1 「ブロック別合同会議」に県連盟会長と県看護協会会長とが出席し、連携の推進を図る。 -2 FNA総会・FNF総会に協会長・連盟会長が相互に参加する。 -3 「ブロック別看護管理者等政策セミナー」に県看護協会会長とFNAとFNF合同(会長・役員)で看護政策を協議、要望書を作成する。
	目標3 会員の確保対策	1) 2024年度の会員目標数の設定と目標管理 2) 看護連盟入会の促進、退会者の防止 3) 若者層・学生会員の確保 4) OB会支部、OB会の活性化 5) 会費課金システム導入の検討	1) -1 都道府県別会議において「会員確保」について検討し、有識者や関係機関と連携し、効果的な確保策を立案する。 -2 「各支部における会員増員の目標値と戦略」を作成し、上級機関へ報告する。 -3 政策セミナー等を通して、連盟活動の理解を深め会員確保を図る。 2) -1 FNA役員への連盟加入を促進する。目標値100% -2 国立病院や看護系大学等の会員増に向けて、看護協会と連携し、入会を促進する。 -3 定年退職者、産休・育休者、中途採用者に連盟入会を継続して働きかける。 3) -1 看護基礎教育の教育内容に「看護政策」を取り入れるよう働きかける。 -2 実習施設や研修施設において看護学生に働きかけ、学生連盟の組織化を促す。 4) -1 FNF OB会の組織化を検討する。 5) -1 会員確保における効果的な会費納入方法に対する意見を募集する。
	目標4 社会変化に即応するためのDXの推進	1) 業務効率化や災害等の不測の事態に備えるデジタルインフラ基盤の推進 2) 各種会議及び研修事業における安定的なオンライン運用 3) SNS及びデジタルを活用した効率的な活動の推進	1) -1 JNFとFNFのデータ共有に向けて、クラウドの活用を推進する。 2) -1 ZOOMプロライセンス契約を継続し、支部での活用を推進する。 3) -1 第27回参議院議員選挙に向けて、広報委員会を中心に情報発信を推進する。
	目標5 看護連盟の活動の強化及び周知徹底	1) 福岡県看護連盟・各支部との情報共有化 2) 自律した会員の育成を目指した研修の推進	1) -1 JNF会長会及び中央役員会、各種委員会、JNA政策情報委員会等と連携し、都道府県別会議に参加し、県の特性を生かした会員確保を図る。 2) -1 未入会者及び連盟会員に対し連盟活動の理解を深め実践を促す。 -2 オンラインツールの活用を推進し、効果的・効率的な会議や研修の開催を図る。
	目標6 若手会員の育成	1) 若手会員の活性化の促進 2) 青年部活動基盤づくりの促進	1) -1 全国青年部代表者ミーティングに参加を奨励する。 -2 自民党が実施する青年部研修会等に積極的な参加を奨励する。 2) -1 第12回ボリナビワークショップ福岡を開催し、若手会員の育成を図る。 -2 各種研修会や看護学校での研修等の講師及び青年部の活動の支援を行う。 -3 情報共有ツールの活用を促進し、ブロック内8県の青年部連盟の連携を図る。
	目標7 広報活動の強化充実	1) 会員に向けた広報活動の充実・強化 2) インターネットを活用した有効な情報発信	1) -1 機関誌を3回/年発行する。 -2 広報委員会を6回/年開催し、活動の方針、具体策を検討する。 -3 HP「私のイチオシ」への投稿を推進する。 2) -1 諸研修会、諸集会で看護職国会議員のビデオメッセージを活用し、国政報告会の開催、Webアンフィニ等活用、機関誌への掲載等を行う。 -2 各級の議会見学を行い、政策決定過程の学びから政治参加を促す。
	目標8 支部組織の活動の強化・促進	1) 支部組織の強化及び支部役員・リーダーの強化 2) 各支部会員のモチベーション強化	1) -1 都道府県別会議に参加し、第27回参議院選挙に向けての活動の支援を行う。 -2 総合役員会を隔月(6回/年)に行う。 -3 リーダー育成の研修会を行う。(1回/年) 2) -1 県・支部において各級議員によるミニ研修会等を行い、議員としての活動の支援を行う。
	目標9 ブロック協議会の活動の強化・促進	1) ブロック協議会の活性化	1) -1 ブロック協議会へ参加し、活発な情報交換と共有を図る。
	目標10 関係団体・関係組織との連携・強化	1) 福岡県看護協会以外の関係団体との交流促進	1) -1 医療関係団体との交流の機会をつくる。 -2 支援団体・支援企業所属の関係者に賛助会員への入会を働きかける。
会員の福祉の充実	目標1 災害への対応	1) 災害発生地への支援	1) -1 災害時の情報発信をする。 -2 災害見舞い支援金等の申請手続きを迅速に行う。
	目標2 福利厚生への対応	1) 日本看護連盟及び福岡県看護連盟内規に基づく対応	1) -1 FNF会長等の表彰を行う。 -2 物故者への対応を行う。
	目標3 諸問題への対応	1) 福岡県看護連盟会員の安全の保証	1) -1 コンプライアンスに基づく政治活動、選挙運動のための情報共有を行う。 -2 諸般の疑問や問題発生の際は、速やかにJNFへ情報提供を行う。

活動	評価指標
<p>選するための知名度向上と活動状況の周知を各支部に強化する。 格として周知する。</p>	<p>1) ・応援する会入会目標数10,000人(会員6,851人×1.5=10,277人) ・課題改善の対策と具体状況</p>
<p>活用する。 議員の活動を周知する。</p> <p>-2 FNF機関誌に看護職員の見聞録を掲載する。 -4 研修会等の講師として、看護職団体の職員を招聘する。</p>	<p>2) ・JNF9つの媒体閲覧アクセス活用数 ・機関誌(年3回)、HP掲載 ・研修会等の開催及びアンケート調査の結果</p>
<p>ため支援する。 動への理解を深める。</p> <p>-2 「参議院選挙実践の手引き」を活用し、コンプライアンス学習で安全な活動を実施する。</p>	<p>3) ・選挙違反0 ・研修会開催時のアンケートの結果 ・研修会開催(研修回数と受講者数) ・非会員の研修会参加者状況</p>
<p>員と連携を強化する。</p> <p>-2 県選出の国会議員や県議員の政策説明会へ参加し、情報共有をはかる。</p>	<p>1) ・政策説明会への参加状況 ・政策懇話会の実績(開催件数) ・ブロック別政策セミナー、都道府県別会議</p>
<p>するために、オンライン・ハイブリッド等を活用する。</p>	<p>2) ・FNF HPアンケート結果 ・要望件数と要望書の提出 ・広報媒体活用件数の把握</p>
<p>eb調査に協力する。 機関誌等で会員に周知する。</p> <p>-2 「現場の声」の調査分析から、政策提言につなぐ具体的な根拠を明確にする。</p>	<p>3) ・政策懇話会の充実(提案) ・政策懇話会実績 ・ファンヘルズ、ニューレジリエンス</p>
<p>生をアピールする。 で情報共有する。 民党県議団に要望する。</p> <p>-2 看護学生の投票行動を促す依頼をする。 -2 FNAと協力し、地方議会・地方行政へ要望活動ができるよう情報を共有する。</p>	<p>4) ・政策懇話会実績 ・職域活動実績(参加回数・参加人数) ・交流の場を持ったか ・県通常総会出席者数</p>
<p>し、連携を図る。 強化する。</p> <p>-2 県看護連盟が支援している国会議員に看護政策必要性の理解を求める。</p>	<p>1) ・看護政策担当議員との交流 2) ・賛同議員の進捗状況の把握</p>
<p>議員に働きかける。</p>	<p>3) ・要望の提出 ・看護を応援する県議・市議・首長の活動把握(職域活動実績) ・議会傍聴回数</p>
<p>対策室」が実施した福岡県における保健師免許取得に関わる意向調査の結果を踏まえ、福岡県保健師教育大学院化の要望を継</p>	<p>1) ・PRや呼びかけができたか。 ・育成プログラム等の参加者数</p>
<p>の支援を行う。 積極的に参加できるようにHP等の媒体を駆使し情報提供する。</p>	<p>2) ・地方選挙での結果 ・看護を応援する県議・市議・首長当選者数の把握</p>
<p>状の発行、候補者の後援会名簿集め、政策講演会・決起集会、街頭演説等への協力と参加)</p>	<p>1) ・新任役員研修会、新入会者研修開催 ・出席状況及び、情報交換GWの継続</p>
<p>に基づく組織運営を行うために新任役員研修会や新入会者研修開催を開催し、組織力の強化をはかる。</p>	<p>2) ・役割分担に従って職務を果たす。 ・行動計画に沿った実践、評価、課題</p>
<p>直し、課題を明確にする。 部委員会、広報委員会、編集委員会)の円滑かつ効率的な運営を行う。</p>	<p>3) ・収支監査及び事業監査、役員の意見 ・公認会計士起用</p>
<p>見極め、費用を効果的に運用し活動の活性化を図る。</p>	<p>1) ・FNA理事及び会員の連盟入会比率の向上 ・看護職の投票率の向上 ・安全な政治活動、選挙協力の実施</p>
<p>参加し、活動内容の情報共有と選挙活動、会員確保等の協働態勢について検討する。</p>	<p>1) 会員目標数8,000人(2024年3月末7,385人)</p>
<p>を長及び役員の参加を促す。 等を作成し行政・政界議員へ提出する。</p>	<p>2) ・会員数の増加 ・FNA会員の連盟入会率を20%(FAF17%、全国平均23%) ・継続入会者数、継続パフレット数 ・賛助会員数 ・教員入会員数</p>
<p>効な対策を実行する。 半期(9月)と下半期(3月)に目標達成状況を評価する。 保に努める。</p> <p>-2 会員数8,000人を確保する。 -5 未加入者の多い施設の看護管理者との交流の機会を作る。</p>	<p>3) ・看護教育機関における実績 ・20~30代の入会員数</p>
<p>と検討し協力を得る。 や賛助を働きかける。</p> <p>-2 FNA会員の連盟加入率を3%UP(20%)にする -4 医療機関以外の施設で働く看護職員へ入会を働きかける。 -6 看護大学・看護専門学校教員への入会を働きかける。</p>	<p>4) ・OB会支部設置 ・OB会交流会開催実績</p>
<p>働きかける。 会員の入会を促進する。</p> <p>-2 連盟役員等が講演や講義の機会に、看護政策や看護連盟について必要な情報を提供する。 -4 青年部委員会で看護学生を対象とした基礎研修の在り方を検討する。</p>	<p>5) 調査協力、意見</p>
<p>支部が協力し合いながら地区ごとに交流会を企画する。</p>	<p>1) ・データ蓄積状況 ・活動費等の振込みインフラ整備</p>
<p>を収集し、課金システム検討プロジェクトに届ける。</p>	<p>2) 研修会運営実績</p>
<p>する。 を推進する。</p> <p>-2 会計業務デジタル化への準備 -2 ハイブリッド形式の研修会や常設委員会のオンライン化を促進する。</p>	<p>3) SNSアカウントを運用実績</p>
<p>青年部委員を交えてSNSアカウントを運用した戦略を推進する。</p>	<p>1) ・報告の実績 ・都道府県別会議受講者の把握(看護協会役員、青年部参加状況を確認)</p>
<p>等をタイムリーに各支部役員へ発信する。 を検討し活動の強化につなぐ。</p>	<p>2) ・会議・研修等の実績</p>
<p>につなぐために、対象別教育研修の標準化を検討する。 研修を企画する。</p> <p>-3 基礎研修資料福岡版を新入会員・未入会者層の研修や集会で活用する。</p>	<p>1) ・集会、研修会、協議会への参加者数及びアンケート調査の結果 ・九州ブロックポリナビ開催</p>
<p>動する。</p>	<p>2) ・若手会員の入会数、促進実績 ・自民党福岡県連政治塾参加者の修了 ・各支部支部設置 ・各大学から1.5名の入会</p>
<p>員の入会を促進する。 人材育成を支援する。 部活動を共有する。</p> <p>-2 青年部支部移行向けの支援と理解促進を推進する。 -4 2024年度の学生会員目標数を23人とし、学生会員の入会促進を支援する。</p>	<p>1) ・広報活動の状況 ・HPのアクセス数の増加</p>
<p>し、広報活動を推進する。</p> <p>-2 編集委員会において、編集活動を促進させ円滑化を図る。 -4 FNF HPの更新頻度を増し、連盟活動及び政策提言活動等の情報を迅速に発信する。</p>	<p>1) ・計画通りに実施できたか。</p>
<p>を上映する。 掲載等を通じ、国政における看護職員の活動を報告する。 画意識を高める。</p>	<p>2) ・集会、研修会、への参加者数及び交流アンケートの結果</p>
<p>の活動意識を強化する。</p> <p>-2 支部運営マニュアルの整備を行い、支部役員の役割を円滑に支援する。 -4 地区別支部長会(1回/年)を開催する。</p>	<p>1) ・ブロック協議会内での課題の共有化</p>
<p>員との交流を深める。</p> <p>-2 地方議員による看護体験を企画・実施する。</p>	<p>2) ・交流会の機会が持てたか。 ・賛助会員数の増加 ・看護系要望団体役員の入会数の増加 ・セーバー風J看護ボランティア活動</p>
<p>活動を進めよう。</p> <p>-2 支援団体・支援企業との交流の機会をつくる。 -4 福岡県鍼灸マッサージ師連盟との提携を更新し、連盟会員の福利厚生の一助とする。</p>	<p>1) ・実施状況</p>
<p>情報収集をタイムリーに行い、本部に速やかに伝え、被災地の現場の声を国会議員に届け 支援協力を要請する。</p>	<p>1) ・実施状況</p>
<p>-2 JNA名誉会員・叙勲等受賞者への対応を行う。 -4 慶弔等への対応を行う。</p>	<p>1) ・実施状況</p>
<p>情報交換を行う。 し、専門家や顧問弁護士と相談し、速やかに解決する。</p>	<p>1) ・選挙運動違反防止、タイムリーな情報共有 ・規約・細則の見直しや組織運営上の諸問題の対応</p>

Report

現場の声を
原動力に

衆議院議員 あべ俊子



まずは能登半島地震の犠牲になられた方々に深い哀悼の意を表し、被災され困難な日々を送る方々にお見舞い申し上げます。

また発災直後から支援活動にご尽力下さっている看護職をはじめ全ての皆様に衷心より感謝申し上げます。

一日も早い復興に取り組んで参ります。

国会で「政治とカネ」が問題となり、看護連盟の皆様には物価高や人員不足等の厳しい中にありながら、私の活動を支えて頂き心より感謝申し上げます。文部科学副大臣として公務を行いつつ、衆議院議員としての政務にも励んでいます。

世界情勢の変動やコロナ禍で拡大したDXなど多くの事柄の急速な変化を、看護業務の効率化、看護の専門性の向上、地域医療の推進に繋ぐ方法を常に考えています。先般、副大臣室に岡山県看護連盟・協会の会長等の訪問があり、看護師確保・看護教育や医療的ケア児の対応などのお話をさせていただきました。全国に足を運ばせていただき、国政からできる事を精一杯おこなって参ります。



あべ俊子政経セミナー



看護連盟施設代表連絡員研修会



全国高校サッカー選手権大会決勝戦・表彰式

Report

現場最優先で看護政策の
推進に尽力して参ります

衆議院議員 たかがい恵美子



薫風の候、健やかに過ごしのことと存じます。トリプル改定への対応で繁忙を極める中、福岡県看護連盟の皆様には平素変わらず、看護政策の推進に多大なご貢献を賜り誠にありがとうございます。能登半島地震への対応を含む令和6年度国家予算が成立し、文部科学省は今春から「女性の健康・医療科学に関する施策パッケージ」を展開します。ライフステージに応じた女性特有の健康課題や性差に着目した学術振興と研究開発が進展し、健康活力社会へとつながることを期待しています。また厚生労働省は、

女性の健康ナショナルセンターを構築して、女性が生涯にわたり健康で活躍できる社会を目指すとしています。ヒトのいのちに寄り添って生きる力を守り支えるプロとして、看護職への関心も一層高まることでしょう。各々が楽しく豊かに堂々と暮らせる未来を創るため、皆様のさらなるご健勝を願いつつ、これからも現場最優先で安定感のある政治活動に努めます。



自民党観光産業振興議員連申し入れ



女性PTで「フェムテック・健康経営展」を開催

Report

住民の安全を守る
河川管理の取り組み

那珂川市議会議員 ひじ英治



能登半島地震で被災されました皆様方にお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復興を願っております。

那珂川市には2級河川的那珂川と、そこに流入する支流が様々有ります。河川の近くにお住まいの皆さんは、事あるごとに洪水の心配をしながら生活されています。本来

なら市が行う草刈りや、川に溜まった土砂の除去などを住民の方がボランティアで行われています。3月議会の一般質問では、このような河川に対する管理計画や整備計画の策定を執行部に求めました。多額の予算が必要になる事業ですので、すぐに実施する事は難しいかもしれませんが、住民の皆さまが、安心して安全な生活ができるように早期に実施してほしいと願っています。



一般質問3月

Report

ナースセンターによる看護職員派遣事業への参画を訴えました 参議院議員 石田まさひろ



福岡県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

3月7日予算委員会にて、人口減少地域における看護師不足への対応や人口減少社会に不可欠な看護職員の生涯教育システムなどを資しました。特に、看護師不足対策においては、地域全体の雇用調整や就業支援への行政の関わりが不可欠であり、ナースセンター自らが雇用した看護職員を危機的な医療機関へ派遣する事業の検討を厚生労働大臣に訴え、「派遣事業への参画も含めてナースセンターの役割の充実強化を検討



予算委員会にて質問



日本看護サミット2023にて鼎談

していく」と回答を得ました。しっかりと議論を前に進めてまいります。

引き続き、現場の声を受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら、看護職が「今日も良い看護ができた」と実感でき、看護職が報われる環境づくりのために、引き続き尽力してまいります。

福岡県看護連盟の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心より御祈念申し上げます。

Report

看護の声を 国政に!

参議院議員 友納理緒



予算委員会質問

福岡県看護連盟の皆様、こんにちは!皆さまに国政の場へ送り出させていただいてから1年8か月ほどが経過致しました。参議院では厚生労働委員会に所属し、自民党では看護問題小委員会の事務局次長、デジタル社会推進本部こども・子育てDXPT事務局長、ガバナンス委員会委員など、さまざまな役割をいただいています。具体的な活動としては、参議院の委員会、自民党の部会、厚生労働省との意見

交換などの機会を通じ、夜勤等人材確保対策、処遇改善、ハラスメント対策、業務効率化、医療安全、訪問看護の推進などを訴えて参りました。その結果、医療職俸給表の改正、看護師等の人材確保の促進に関する法律に基づく基本指針の改定、骨太の方針への「訪問看護の推進」の記載、看護補助者の処遇改善など一定の動きもありました。また、本国会では、予算委員会の初日で、総理のほか各大臣に質問をさせていただき、その中で、本年の診療報酬等のトリプル改定において、皆さまの賃上げが確実になされるように訴えました。

現在も全国を訪問し、講演や施設訪問に行っています。看護の声を国政に!初心を忘れず全力で看護政策の推進に向けて取り組みます。



予算委員会質問



岸田首相へ申入れ

Report

地域でつながる 認知症・生き生きと

遠賀町議会議員 野口久美子



令和6年2月10日遠賀町広渡校区認知症研修会が、認知症認定看護師の田中知美講師を迎えて開催されました。2025年には、65歳以上の5人に一人が認知症というデータがあります。明日はわが身と痛感しました。正しい

知識をもって、身近な包括支援センターとつながり、大好きな遠賀町で認知症になっても活き活きと自分らしく生きていける共生社会の構築を目指して、議員として頑張る覚悟です。



遠賀町生活支援体制整備事業
広渡校区認知症研修会



リーダー研修会 たかがい恵美子衆議院議員 「看護の未来を語る」

県幹事 久富 瑞穂



令和6年1月27日、たかがい恵美子衆議院議員をお招きし、看護の未来についてのテーマのもと講演して頂きました。参加者は201名。ナースプラザの研修会場は、たかがい議員から、どのようなお話が聞けるのか、期待感に溢れていました。

冒頭、たかがい議員は、今マスコミを騒がせている政治資金問題について発言されました。

1月11日、政治刷新本部が立ち上がり、そのメンバーにたかがい議員は選ばれ、その会議の中で、たかがい議員は、国民の信頼だけでなく、クリーンに取り組んできた仲間の議員の信頼もなくしていること、そして日々頑張っている看護職の現状、特に災害やコロナ禍で苦労した看護職のあゆみに触れ、その現場の声を大事にして政策提言、法改正に努力しているのに、なぜ今までの努力を崩すような問題が生じているのか？

今後なくした信頼を取り戻すため地道に1から積み上げる努力が必要と、心の奥底からあふれ出る声で話されました。誰もが思っているモヤモヤな気持ちを代弁して頂いているかのようで、受講している私達の気持ちに、ひしひしと伝わりました。

今回の研修では、たかがい議員は、東日本大震災復興特別委員会委員長として、また厚生労働委員会に置いては感染制御に関する法律の整備や、国民の健康、生活の安定のため日々活躍された事を報告されました。また女性版骨太の方針2023では、Ⅰ. 女性の活躍と経済成長、Ⅱ. 所得向上・経済的自立、Ⅲ. 尊厳と誇りをもって生きられる社会の実現、Ⅳ. 女性登用目標達成に向けて、一層の努力をされています。その進捗状況を拝聴しながら、たかがい議員はいつも看護職のことを念頭に置いていただいているということを確認しました。これからも全力を挙げて、たかがい議員を応援し続けることを決意して研修会を終了しました。



会員研修会 石田まさひろ参議院議員 IN ふくおか

2024年4月13日、会員、非会員合わせて297名の参加者のもと、石田まさひろ参議院議員に、「国政の動き、診療報酬改正のポイント」のテーマで講演して頂きました。講演では、看護職の処遇改善、看護師等確保基本指針の改定、診療報酬改正などについて、石本茂参議院議員の時代から今日に至る経過まで興味深く話されました。諸先輩の努力が、看護の未来を切り開く道に繋がっていることを、参加者一人一人が、それぞれに響く言葉で印象にのこったと思いました。講演終了後は、石田先生と共に写真、写真!!

会員の石田参議院議員への期待の姿がありました。



第11回ポリナビワークショップin福岡

令和6年2月10日(土) 13:00~16:00
ナースプラザ福岡にて ハイブリット形式で開催

参加人数：102名
講義 1：「DMAT/災害支援ナースが伝えたいこと」
講義 2：「ストレス対処について」

青年部の窓



福岡県看護連盟青年部

参加者の声



オンラインで参加しました



今回のポリナビワークショップはオンラインで参加させていただきました。看護師が政治活動を行う必要性が理解できていなかったのですが、基礎研修を受けることで看護と政治の結びつきについて理解できました。仁田原先生や大場先生の講義も分かりやすい内容で自分の学びになりました。仁田原先生の講義の中で印象に残ったのは南海トラフの災害規模について

です。なんとなく地震が起きたら大変なことになるのだろう程度に考えていましたが、動画を見て説明を受けることで震災が発生した際の被害規模を理解し恐怖を感じました。普段から災害に備えることが重要で、家族や患者さんを守るためにも震災などの災害発生を想定し避難経路などを意識するようにしたいと思いました。大場先生の講義では自分だけでなく患者さんのストレスにどうアプローチすればいいか理解が得られました。業務中だけでなくプライベートでも活用をしていきたいとします。流れた動画も感動的で印象に残りました。このような機会を作っていただきありがとうございました。

講師の声



聖マリア病院 仁田原 重政

「DMAT/災害支援ナースが伝えたいこと」について講演させていただきました。ハイブリット形式だったためとても緊張しました。今回は、うきはの豪雨災害や能登半島地震直後ということもあり興味を持っていただき聞いていただけたのではないかと思います。この講演で伝えたいのは「必ず災害はおきる。その時に慌てるのではなく、普段から訓練などを行い準備しておくこと、さらに顔の見える関係性を作っておくことが大切である」ということです。ぜひ、各施設でBCP(事業継続計画)を確認していただき、いざというときに対応できるようにしましょう。それから、災害で活動したいという方は、DMAT隊員になる方法もあります。狭き門になりますので看護協会を受講できる災害支援ナースという道もありますのでやる気のある方はTryしてみてください。

災害でお亡くなりになられたかたに、ご冥福をお祈り申し上げます。



飯塚病院 精神看護専門看護師 大場 裕司

令和6年2月10日(土)に、福岡県看護連盟青年部主催の第11回ポリナビワークショップin福岡に参加させていただきました。基礎研修では、日本看護連盟と日本看護協会のそれぞれの役割について学び、ベッドサイドから看護の声を国政に届けることで、わたしたちの未来をひとつひとつ紡いでいくことの大切さを実感いたしました。講義1では、災害派遣医療チーム：Disaster Medical Assistance Team(DMAT)について、実際の活動を知るとともに、今後の南海トラフ地震など、激甚災害への危機感と備えの重要性を再確認いたしました。講義2では、ストレス対処について、私が講師を担当させていただきました。ストレス因子、ストレス反応、GRACE(Gathering attention注意を集中させる、Recalling intention動機と意図を想起こす、Attunement to self/other自己と他者の思考・感情・感覚に気づきを向ける、Considering what will serve何が役に立つかを熟慮する、Engaging and Ending行動を起こして終結させる)など、概論を中心に据えながら、いくつもの対処方法をお伝えいたしました。

今回は、ナースプラザ福岡の研修室とZoomを用いたオンライン配信によるハイブリット形式で開催されたため、より多くの方と多様な意見交換ができたのではないかと感じています。このような機会をいただき、心より感謝いたします。



福岡1・2支部

支部長 本山 真由美

福岡1・2支部の会員数は441名(令和5年度)、7施設から役員7名と青年部1名の8名で活動しています。

ここ3年間は支部会議や研修会をZOOMで行っていましたが、新型コロナウイルス感染症も5類となり、今年度からは感染防止対策も実施した上で、対面での研修の開催・支部会議を行っています。

基礎研修の受講者を増やすために、基礎研修に加えて、興味を持っていただけるような研修について役員と検討を重ね、計画・実施しています。1回目の研修テーマは「メディカルアロマセラピー」としました。講義後に、実際にアロマオイルを使用して、実施する側、される側、両方のハンドトリートメントを体験していただきました。2回目はクリティカルケア認定看護師による「フィジカルアセスメント」をテーマに開催しました。講義に加え、症例を用いて、得られた情報から現在の病態をアセスメントし、緊急性の評価と対応についてグループにてディスカッションも行いました。

会員以外の施設や看護学生にも研修会の開催をご案内し、参加していただくことができました。今後もより多くの方に看護連盟の役割や活動を知っていただけるように取り組んでいきたいと思っています。



福岡3・6支部

支部長 松村 真理子

福岡3・6支部は、福岡市(早良区・城南区・南区)、筑紫地区の26施設で会員数463名(令和5年度)です。令和5年度の役員は、青年部が加わり12名で活動を行っています。医療現場は、発熱者対応やクラスター発生などの対応が続いておりますが、ポストコロナにおいて、支部活動はコロナ禍前同様に支部研修を2回開催しました。1回目は、連盟活動を継続していくには、まずはコロナ禍で心身共に疲弊している看護職の元気回復につながればと、基礎研修後に「自分が疲れたいためのアンガーマネジメント」研修を開催しました。参加者の笑顔が見られ満足度の高い研修でした。2回目は、自由民主党福岡県第五選挙区支部長の栗原渉氏をお招きして、「看護と政治の未来」をテーマにお話ししていただきました。看護政策を実現するためには、行政や政治の力が必要であり、看護現場の課題を発信していくためには、地域で活躍されている議員の方々とのつながりも大切だと感じる研修でした。

今後も、議員の方を身近に感じることができ、看護現場の現状を伝えていく機会を作ることまた、研修会を通して、会員を増やしていく活動を役員一同取り組んでいきたいと思っています。



広報委員会よりお知らせ



今さら聞けない政治のしくみクイズ

福岡県看護連盟のホームページに、4月より、毎月「今さら聞けない政治のしくみ」のクイズを5問ずつ掲載することにしました。4月、5月のクイズに挑戦してみましたか？

毎月、全問正解者の中から抽選で5名の方にQUOカードを進呈します！**ぜひクイズに挑戦してみてください。**
お友達も誘ってクイズに挑戦してください。

編集後記

編集長 羽江 和子

若葉青葉の季節となりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

令和6年能登半島地震において、被災された皆様には心からお見舞い申し上げますと共に、一刻も早い復興を心から願っております。今回の表紙は「復興のシンボル」である朝倉市の三連水車の逞しい姿をお届けしました。この水車は、2017年の九州北部豪雨で大きな被害を受けましたが、みんなの懸命な力で1か月後には復旧し力強く動き始めました。みんなで力を繋ぎ合わせ続けることが未来への大きな力になることを感じます。さて令和6年6月30日は福岡県看護連盟の総会です。国会議員を始め多くの来賓をお招きして、会員の皆様とお顔を合わせての開催になります。総会で、会員みんな心を結び合い、次年度を踏み出す大きな力にしていきたいと思います。